

in silico 評価方法 ((Q)SAR 及び Read across) に関する報告書

目 次 案

1. はじめに

- 評価技術企画ワーキンググループ設置の背景
- ワーキンググループの審議の経緯

2. 化学物質の *in silico* 評価方法の開発・活用の経緯

- (1) 毒性試験データの蓄積を活用したリスク評価
- (2) コンピュータを活用したリスク評価方法の発展
- (3) (Q)SAR と Read across のリスク評価への導入

3. 国内外の現状

- (1) 毒性データベースの構築
- (2) 予測ツールの開発
- (3) リスク評価等への活用

4. 食品健康影響評価への活用に向けた課題

5. 今後の取組

6. おわりに

用語、略語

参照文献